

若者が語る小野町の未来

「町長と夢トーク～ともに考えるまちづくり～」



(後列左から)大和巧実さん(小野高等学校)、宍戸開さん(地域おこし協力隊)、狩野裕大さん(東邦銀行小野支店)、モラン・アレサンドロさん(小野町教育委員会)
(前列左から)駒木根結衣さん(小野高等学校)、樽井えりささん(まちづくり小野)、町長、國分小雪さん(認定新規就農者)

町長がトレーラーハウスM.A.N.M.A. HOUSETM会場に、小野町で活躍する若者7人と未来に向け小野町をもっと住みやすい町にするにはどうすればいいか、人口減少時代にどうすればいいか、和やかな雰囲気の中、若者の皆さんと意見を交換しました。

なお掲載文は、話の口調を生かしつつ要約しています。

町長あいさつ

本日はお集まりいただきありがとうございます。

小野町では平成30年度に策定した「未来へ 小野町総合計画」および平成27年度に策定した「小野町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、住んでいる人が幸せだと感じられる、安心して子育てができる、住んでいてよかったと思えるまちづくりを目指して取り組んでいます。

本日は急激な人口減少に歯止めをかけ、地域を活性化させるために今、何ができるのかを皆さんとお話したいと思います。

トークテーマ1
結婚・出産・子育て・
教育に楽しみやうれし
さを実感できるまちづ
くり

【狩野裕大さん】 共働き世帯への支援を



狩野裕大さん

結婚して子どもを育てて、となるとやはり収入面が気になる場所なので、子どもの出生に関する助成金があります。最近共働き世帯が増えて、子どもを産んでも面倒を見る人がいないという問題があるので、一時保育を充実させていく必要があると思います。